

2020年4月16日

日本ボーイスカウト東京連盟

県連盟理事会役員 各位

県連盟地区コミッショナー 各位

県連盟団委員長 各位

日本ボーイスカウト東京連盟

理事長 山内直元

県連盟コミッショナー 村山大介

新型コロナウイルス感染拡大に伴う東京連盟方針（活動中止）

昨日、政府より「緊急事態宣言」が全都道府県に発出されたのを受け、日本連盟発新型コロナウイルス感染への対応第6報が発信されます。**全県連盟で2020年5月6日までスカウト活動を自粛**との連絡を受けております。東京連盟の所属の各団においては行政の対応がまちまちの状況下の中、東京都知事より強く「外出の自粛」が求められています。しかしながらスカウトの指導者にも感染者が出ているとの一報を受けております。スカウト活動中に感染したわけではありませんが、感染報告のない地域での発症もありスカウトのみならず関係者一人ひとりが「活動の自粛」と「注意喚起」の周知徹底ではもう収まらない状況となっております。もう一步も踏み込んだ決断・実行の指示が必要な段階に入っているとの判断より東京連盟方針（活動中止）を示します。

団、地区に於いて意見の温度差があることは承知しておりますが、皆さんの思いは同じです。スカウト本人の命と健康を第一に考える時、その家族やスカウト関係者に留まらず全ての人々がこの新型コロナウイルス感染拡大の脅威を言葉や映像等で理解するのではなく、スカウトのみならず関係者一人ひとりが強い意志をもって行動（外出の自粛）しなければなりません。

日本連盟に於いては、富士スカウトの表敬訪問の中止、各種奉仕活動の中止、神奈川県で行われる予定の全国大会の中止、第13回日本アグーナリー1年延期そして指導者訓練の実質8月一杯の中止となっている中、東京連盟では3月下旬から各種奉仕活動の中止、6月30日までの指導者訓練の中止、サマーキャンプ2020の中止となっております。

このような状況を鑑み、**5月6日までのスカウト活動を中止**します。

新型コロナウイルス終息の見通しが見えない中、緊急事態宣言が全国の都道府県へ拡大されましたが、5月6日以降の延長もある可能性は残念ながら捨てきれない状況と思います。

但し、活動が中止となっても、我々のスカウト活動は止まることはありません。スカウト運動の主体であるスカウト達への支援・指導については県連盟コミッショナーを中心にコミッショナーの皆さん方をお願いしていきます。

特に、スカウトの進歩や入隊・上進に関する諸課題、指導者訓練の中止による指導者の資格要件の特例等については県連盟コミッショナーが判断し、救済措置を提案します。（別紙参照）

1. 活動停止を解除する手順やルールを別途に定め、加盟員・加盟団にお伝えします。
2. スカウト活動での感染拡大を防ぐため、全ての会合等をWEBや電話で行う方法を徹底して下さい。

日本連盟から各団への支援として、「google meet」の無償提供をスタートしました。又、日本連盟ホームページでも活動のヒントや関係サイトのリンクが掲載されていますので活用して下さい。又、日本連盟では、これまでに「自粛」の要請をしておりますが、先にお伝えしているとおり、スカウトのために、このような環境下でも行えることを「Scouting Never Stops」を合言葉にこの困難に立ち向かいましょう。